

## 編集後記

昨年度の創刊号に引き続いて、ここに、研究紀要第2号を刊行する運びとなった。開学2年目を迎えて、少ないスタッフで学生の指導・教育に集中的に取り組まなければならないという厳しい条件の中で、研究活動の成果を紀要にまとめることができたことは、大きな喜びである。森昭三学長をはじめ、御支援と御協力を頂いた方々に厚くお礼を申し上げる次第である。

研究紀要第2号は、課題研究論文、自由研究論文及び研究報告から成っている。オリンピック開催年にふさわしいテーマとして「スポーツの国際化の現状と課題—The Olympic Yearを迎えて—」と題する特集テーマを設定し、5名の方に執筆を依頼した。国際化という視点に立った現代のスポーツ研究の多様なアプローチが展開されているとともに、本学教員の国際的な活躍の様子がよくあらわれていると考えている。

自由研究論文については、編集規程に基づく慎重な査読・審査の結果、5篇の論文が採択された。また、研究報告として、4篇の論文、報告を掲載することができた。

なお、自由投稿論文については、下記の方々に査読をお願いした。忙しいところを査読をお引き受けいただいた方々に厚く御礼を申し上げる次第である。

本委員会では、今後、研究紀要のさらなる充実と研究の発展を図るための活動に取り組んでいく所存である。第2号に対する忌憚のない御意見を頂ければ幸いである。

自由投稿論文査読者氏名

海老島均，大久保衛，金森雅夫，金田安正，河合美香，黒澤毅，小浜明，小松崎敏，園山和夫，  
豊田一成，松田保，山口満，山形修

研究紀要編集委員会（文責，山口 満）